

宮崎県版GAP【米】 57項目

1 農業経営全般に関する取組				役割分担			
区分	No.	レベル	管理すべきポイント	団体	内容	農業者	内容
1.1ほ場環境の確認と衛生管理	1.1.1	必須	農地台帳や地図等を作成することで、面積や位置を明確化していること。				
	1.1.2	必須	ほ場の過去の使用履歴を把握し、土壌汚染等の問題がないことを確認していること。				
	1.1.3	必須	カドミウム等の有害物質による土壌汚染がないことを確認しており、必要に応じてカドミウム低減対策として適正な水管理を行っていること。				
	1.1.4	必須	整理整頓し、農業生産に用いる資材やゴミ等が放置されていないこと。				
	1.1.5	必須	工場排水や生活排水、堆肥や家畜糞尿の流入がないこと。				
	1.1.6	必須	ほ場への野生動物の侵入を防ぐ措置を講じていること。				
1.2知的財産の保護	1.2.1	必須	登録品種等、他者の知的財産を侵害していないこと。				
	1.2.2	必須	農業者自らが開発した知的財産を保護・活用していること。				
1.3記録の保管	1.3.1	必須	種子・苗、肥料、農薬等農業資材の購入伝票を保管していること。				
	1.3.2	必須	資材の殺菌消毒、施設・機械類の清掃等について記録していること。				
	1.3.3	必須	記録・帳票類を適切に保管していること。				
1.4 生産計画	1.4.1	必須	生産計画を立て、その計画に基づいた取組を実施していること。				
1.5GAPの点検	1.5.1	必須	宮崎県版GAPの点検を実施していること。				

2 農作業安全に関する取組				役割分担			備考
区分	No.	レベル	管理すべきポイント	団体		農業者	
2.1 危険箇所や作業の把握と対策	2.1.1	必須	ほ場やその周辺の危険な場所や機械作業を把握するとともに、事故の発生を軽減する措置を講じていること。				
2.2 機械等の適正な使用	2.2.1	必須	農業機械等の機能、使用上の注意事項等を理解し、安全に使用していること。				
2.3 作業者の健康と作業従事者の制限	2.3.1	必須	作業者の健康維持に努めている他、発熱や感染症への感染が疑われる場合は、作業を制限していること。				
	2.3.2	必須	機械作業、高所作業、農薬散布作業等の危険が伴う作業は、それに見合う力量がある作業者を定めていること。				
2.4 服装及び装備	2.4.1	必須	農作業時は、事故防止等のため、適切な服装、装備を身に付けること。				
	2.4.2	必須	農薬散布時は、ラベルに従った防護服・装備を着用していること。				
	2.4.3	重要	防護服は、着用後に洗浄し、収穫物の汚染や農薬による汚染の心配のない場所で乾燥させ、保管すること。				
2.5 機械等の整備・点検	2.5.1	必須	機械、装置、器具等は、使用前の安全点検と使用後に整備を行い、定められた場所で保管していること。				
2.6 燃料の保管	2.6.1	必須	燃料は適切な場所・方法で保管されていること。				
2.7 事故後の備え	2.7.1	必須	必要に応じて労災保険に加入していること。				
	2.7.2	重要	農作業事故発生への備えがあること。				

3 環境保全に関する取組				役割分担			備考
区分	No.	レベル	管理すべきポイント	団体		農業者	
3.1廃棄物の適正処理	3.1.1	必須	生産工程で発生する廃棄物を減らす取組をするとともに適正に処理していること。				
	3.1.2	必須	廃棄物の野外焼却は原則行わないこと。				
3.2土壌の保全	3.2.1	必須	土壌の浸食・流出を防止するための技術を実施していること。				
3.3省エネ対策	3.3.1	必須	施設・機械等の使用において省エネ対策を行っていること。				
3.4土づくりと適正施肥	3.4.1	必須	堆肥等の有機物の施用により土づくりを行っていること。				
	3.4.2	必須	土壌診断や生育診断を実施し、診断結果に基づいた施肥を行い、不必要な施肥は行っていないこと。				
3.5適正防除	3.5.1	必須	病害虫が発生・拡大しにくい環境づくりを行っていること。				
	3.5.2	必須	病害虫の発生状況等を基にした適期防除を実施していること。				
	3.5.3	必須	化学合成農薬以外の防除技術の導入により、総合的な防除を実施していること。				
	3.5.4	重要	農薬に対する耐性を生じないような防除を行っていること。				

4 農産物の安全に関する取組				役割分担			備考
区分	No.	レベル	管理すべきポイント	団体		農業者	
4.1 作業者の衛生	4.1.1	必須	ほ場や作業場所から、通える衛生的なトイレや手洗い場があること。				
4.2 堆肥・肥料の使用	4.2.1	必須	堆肥は適正な工程で生産されたものを使用すること。				
	4.2.2	必須	人糞尿は、使用しないこと。				
	4.2.3	必須	肥料の使用について記録していること。				
4.3 農薬の使用	4.3.1	必須	農薬は台帳により管理していること。				
	4.3.2	必須	期限切れ農薬は適正に処理していること。				
	4.3.3	必須	農薬は適切な方法で保管されていること。				
	4.3.4	必須	ドリフト低減対策を講じていること。				
	4.3.5	必須	水田からの農薬流出を防止する対策を講じていること。				
	4.3.6	必須	農林水産省登録農薬又は特定農薬以外は使用しないこと。				
	4.3.7	必須	農薬使用時は、ラベルの表示を確認し、正確に希釈・使用していること。				
	4.3.8	必須	農薬は使用残が発生しないよう必要な量だけ秤量していること。				
	4.3.9	必須	農薬使用前には、散布機等防除器具の十分な点検を実施すること。				
	4.3.10	必須	農薬散布後は、散布機等防除器具を洗浄していること。				
	4.3.11	必須	散布残液は、適正に処理していること。				
	4.3.12	必須	農薬の使用について記録していること。				
	4.3.13	必須	農薬の空容器は、風雨にさらされない場所で保管し、産業廃棄物として適正に処理すること。				

4.4収穫・ 輸送・調 製時の管 理	4.4.1	必須	収穫・運搬時の汚染や異物混入に繋 がる危険性を把握し、対策を講じてい ること。				
	4.4.2	必須	農産物取扱施設での汚染や異物混入 等の可能性を把握し、対策を講じてい ること。				
	4.4.3	必須	収穫物は清潔で衛生的な施設で乾燥・ 貯蔵されていること。				
	4.4.4	必須	用途限定米穀や食用不適米穀につい ては区分保管と適切な販売・処分がさ れていること。				
4.5残留農 薬検査と トレーサ	4.5.1	重要	残留農薬検査による安全性の確認を 行っていること。				
	4.5.2	重要	トレーサビリティの体制があること。				